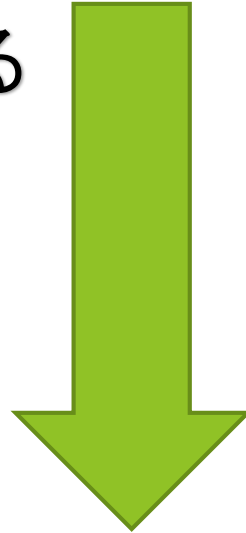


常盤中学校区の研究テーマ

小・中一貫 児童生徒の確かな学力の向上
～9年間を見通したカリキュラムや学習活動の研究～

算数科・数学科における 児童・生徒の実態

- ・考えるのは好きだが、発表は苦手
- ・文章で書くのはできるが、図や表などを使うのが苦手



今までの研究実践

- ・算数コーナー設置
- ・パワーアップタイム
- ・学習の進め方とノート指導

仲町小学校・常盤中学校数学科の共通研究テーマ

自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成

研究の視点

視点1 自分の力で考える楽しさを味わわせるための指導の工夫

自分の考えをもつ子どもの具体的な姿

低学年	中学年	高学年	中学校
<ul style="list-style-type: none">・ 具体物（ブロック・数カード・数え棒など）を動かして考える。・ 図や式にして考える。	<ul style="list-style-type: none">・ 学習したことをもとにして考える。・ 図や表、式にして考えを表現する。・ 順序立てて自分の考えを表現する。	<ul style="list-style-type: none">・ 既習事項を生かして考える。・ 図や表、式、言葉を活用し表現する。・ 筋道を立てて、自分の考えを表現する。	中学校の生徒の姿

研究の視点

視点1の手立て

- ① 考えたくなるような問題提示の仕方の工夫
- ② 課題をみんなで作る工夫
- ③ 既習事項を活用できるようにする工夫
- ④ 学習したことを生かす場面の工夫



研究の視点

視点2 共に学び合い、考えを深めさせるための工夫

小グループによる、学び合いのねらい

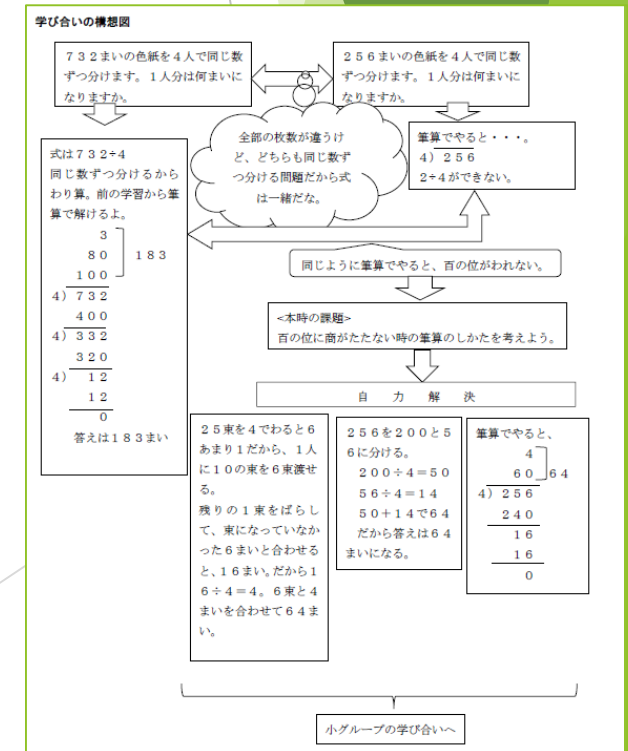
学び合いの形式的な面でのねらい	学び合いの内容的な面でのねらい
<ul style="list-style-type: none">① 少人数なら意見が言える子どもに自信をもたせる。② 図や表などを使った発表の仕方を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none">① 自分と友達の考えの同じところ、違うところを比較させる。② 考えの根拠として、図や表などを見せながら説明させる。③ お互いの考えのよさを見つけさせる。

研究の視点

視点2の手立て

- ① **小グループでの学び合いの工夫**
- ・ 意図的グルーピング
 - ・ あくしゅ、ハイタッチ

- ② **全体の学び合いを充実させるための工夫**
- ・ 授業構想図
 - ・ 板書の工夫



本時までの小・中の授業で行ってきた共通の取組

- 1 学び合いを取り入れる授業展開
「コミュニケーションタイム」
- 2 学習のまとめと振り返りを重視する
「学習感想・ふりかえりタイム」
- 3 小・中の系統性を意識した指導計画

